

小学校教科用図書調査研究資料

書 写

東 京 書 籍
教 育 出 版
光 村 図 書 出 版

令和5年度

中高・飯水地区小学校教科用図書採択研究協議会

種目（書写）

<p style="text-align: right;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍（新編 新しい書写）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を整えて書くための知識及び技能に加え、伝統や文化について幅広い教養を身に付ける工夫がされている。 ・全学年で「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」の学習展開が示され、自ら課題解決に向けた学習ができるよう配慮されている。 ・各学年の学習のねらいや学び方を明確にし、児童が自己評価しながら主体的に学ぶ配慮がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各単元の指導事項に適した簡明な字形・書き方・筆使いの語彙を、系統的・段階的に配置するよう配慮されている。 (2) 普段の手書き文字から課題を見つけて解決を目指したり、横書きの単元を設けたりして、文字や書くことへの興味・関心を高めている。また、単元や学年の終わりに「生活に広げよう」「学びを生かそう」などといったページがあり、日常生活や他教科の学習に生かせるよう工夫されている。 (3) 単元の導入に、「見つけよう」として、「くらべよう」「さがそう」という言葉が添えられた教材や、それをもとにした対話を促すアイコンが示され、児童が課題に気づくための工夫がされている。 (4) ユニバーサルデザインの観点から、左利き児童用の資料の提示やフォント・色使い等への配慮がされていることで、すべての児童にとっての学びやすさにつながる工夫をしている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各単元の指導事項に適した字形をもつ文字や語彙を選びながら単元が配列されるよう工夫されている。 (2) 系統的に整理した学習事項のポイントを「書写のかぎ」として示し、発達段階に応じた端的な説明の示し方をするとともに、一覧表で学びのつながりを確認できるよう配慮されている。 (3) 日常生活から課題を見つける資料を示したり、学習を生かす段階で観察日記や絵日記など、他教科や日常生活と連動させた言語活動を取り上げたりして、児童の主体的な学びに配慮している。 (4) 学年段階に応じたデザインに配慮し、課題解決のポイントとなる知識及び技能の説明において、筆使いを挿絵や図、音で示すなど工夫されている。 (5) 「書写のかぎ」として学習要素を系統的に分類・整理し、各単元に課題を解決する手段として示すことで、まとめや評価の観点が明確になるように配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の手書き文字（硬筆）から課題を発見し、解決方法を見出し、それを硬筆に生かせるように工夫されている。 ・書写の学習要素を、既習事項も含めた学習過程をインデックスで示すことで、常に系統性が意識できるよう配慮している。

種目（書写）

<p style="text-align: right;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">教育出版（小学 書写）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達に合わせた教材が系統的に配列され、日常生活の中で身に付けた知識及び技能が活かされるよう工夫されている。 ・全学年で「めあて」「ふりかえろう」が、3年生以降では「考えよう」「ここが大切」「生かそう」の学習展開が示され、自ら課題解決に向けた学習ができるよう工夫されている。 ・学習の進め方や自己評価をする欄、書き込みができる欄などがあり、見通しをもって主体的に取り組めるよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学年の発達段階や学習時期に応じて平仮名、片仮名、漢字が配列されており、系統的・段階的に学べるよう配慮されている。 (2) 「レッツ・トライ」の欄には、習得した書写の力を、他教科や日常生活に活用できるよう関連を図り、文字や言葉、書くことに対する興味・関心が高まるように配慮されている。 (3) 「考えよう」の欄に、「どうちがうかな。」「～どうなっているかな。」などの問いかけがあり、児童が自ら考え、必要な技能に気づけるよう配慮されている。 (4) ユニバーサルデザインの観点から、左利き児童用の資料やフォント・色使い等への配慮がされている。また、すべてのページにQRコードがついており、動画によって視覚と音声で理解でき、すべての児童にとっての学びやすさにつながる工夫がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学年に応じて、書きやすい点画や文字の大きさなど、平易なものから発展的に学習できるよう配列が工夫されている。 (2) 低学年では姿勢、執筆、筆使い、高学年では字形などを中心に、段階的に繰り返し配列され、「はってん」のページで先の学年の学習に触れられるなど、学年間の関連が配慮されている。 (3) 「レッツ・トライ」で、他教科や日常生活と関わる書く活動が紹介されており、児童が主体的に書写学習を活用できるよう配慮されている。 (4) 写真や図版が多く活用されており、筆使いがよく分かるよう、書いているときの筆の状態や穂先の位置などが大きく示されていて、運筆の指導に生かせるよう工夫されている。 (5) 単元のページごと、右上に「めあて」、左下に「ふりかえろう」が書かれており、その単元で身に付けたいことが明確になるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・字を書いている途中の筆の状態が実物の写真で示されているなど、写真や図版を多く活用し、詳しい説明を加えることで、身につける知識及び技能が明確になるよう配慮されている。 ・練習用紙を選択することが示されるなど、課題解決のために必要な方法を児童が考えられるよう配慮されている。

種目（書写）

発行者名 採択基準	光村図書出版（書写）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本を明確に示すことで、文字の書き方だけでなく知識及び技能を確実に習得できるように工夫されている。 ・全学年で「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の学習展開が示され、自ら課題解決に向けた学習ができるよう工夫されている。 ・身の回りの文字文化や言葉に触れられる資料があり、書写学習で身に付けた力を主体的に活用できるように工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文字の構成や点面の書き方を焦点的に示した教材を、系統的・段階的に配置するよう配慮されている。 (2) 全学年で「ことば」を設けて既習事項を生かして書いたり、新聞やノートの書き方を示したりして、言葉に対する興味・関心を高め、他教科や日常の言語活動に生かせるよう配慮されている。 (3) 「なぞとき」「こんなときはないかな」の2つの例を示し違いに気付かせたり、どちらの書き方がよいか考えたりし、児童が気付きを持ち技能を身に付けられるように配慮されている。 (4) ユニバーサルデザインの観点から、フォント・色使いに配慮するとともに、左利き児童用の教科書紙面や動画が必要だと考える場所に、二次元コードを用意している。 (5) 毛筆学習の各単元に、硬筆欄を設け、毛筆で学習したことをもとに硬筆に活かす意識が高まるように工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学年に応じて習得と活用を繰り返しながら書写の基本的な力が培えるように、単元の配列が工夫されている。 (2) 1教材1目標とし、身に付ける力を教材名にして分かりやすくしたり、「学年別漢字配当表」に準拠した、部分の形の統一が図られた学びやすい文字を使ったりする工夫がされている。 (3) 文字の大きさや配列など書写で学んだ技能を、他教科との教科等横断的な学習や日常生活に生かしたり、国語の教科書と連動した教材を一体的に扱ったりし、学習活動に主体性が生まれる工夫がされている。 (4) 筆使いを言葉や図で示したり、動物のキャラクターの動きや、「すうっ」「びたっ」などの言葉を唱えて書くことでポイントが押さえられるなどの工夫がされている。 (5) 各単元に「ねらい」「たいせつ」、巻末には「たいせつのまとめ」を設け、各学年で学ぶ要点を振り返ることができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の教科書と連動した教材が全学年に設定され、国語と一体的に扱うことによって、学習活動に必然性が生まれる工夫がされている。 ・全学年「ことば」の教材で、日常の言語や物語・詩や俳句などを「書き写し、言葉の美しさを味わえるよう配慮されている。 ・4学年に「SDGsブック」を設けるなど、教科書全体を通してSDGsの達成に向けた工夫がされている。